

## 平成30年度 高等学校OPENプロジェクト実施報告書（1年次）

研究指定校	北海道標茶高等学校	教育局	釧路教育局
-------	-----------	-----	-------

<b>1 研究主題</b>	
「しべパフェ」で元気な町づくりプロジェクト ～標茶町でパフェを食べてみませんか～	
<b>2 研究実践内容</b>	
月	実施内容
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリプトンフューチャーメディア社（CFM社）との雪ミクコラボパフェのデザイン作成。 インターネットを利用し、一般的に市場展開されているパフェのデザイン調査を行った。（教科：乳製品加工）</li> <li>HACCP認証に向けた掲示物の作成。 HACCPの手順にのっとり本校施設の改善点の調査を行い、手洗いや加工服の衛生管理に関する掲示物を作成した。（教科：乳製品加工）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナルパフェのデザイン作成。 インターネットを利用し、パフェのデザイン調査と使用する食材（標茶の特産物）について情報収集を行った。（教科：乳製品加工）</li> <li>HACCP認証に向けた掲示物の作成。 HACCPの手順にのっとり本校施設の改善点の調査を行い、加工室入退室時の注意点に関する掲示物を作成した。（教科：乳製品加工）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナルパフェのデザイン作成と試作。 インターネットを利用し、標茶町の環境や風土など地域特性を調査した。それらを利用し考案したパフェの試作、検討を行った。（教科：乳製品加工）</li> <li>HACCP認証に向けた資料の作成。 施設での製造記録を改善した。施設内温度や冷蔵冷凍温度などの記入マニュアルを作成した。（教科：乳製品加工）</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の成果研究発表会に向けた準備。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報機器を利用し、研究発表会で発表するための文書や画像の作成及び発表練習を行った。（教科：乳製品加工）</li> <li>札幌雪まつりでの雪ミクコラボパフェについての詳細検討と市場調査研修。</li> </ul>

	<p>コラボパフェの具体化に加え、札幌雪まつりの時期に合わせてミライストカフェで販売されたコラボパフェを注文したお客様に生徒がインタビューするなどし、標茶町のオリジナルパフェ作成のための研修を行った。(総合的な学習の時間(自己探究))</p>
<h3>3 地域みらい連携会議の開催内容</h3>	
第 1 回	平成30年11月16日(金) 13:30~15:30 (本校)
出席者	標茶町長、標茶町農業協同組合組合長、標茶町観光協会理事、標茶町観光協会会長、クリプトン・フューチャー・メディア(株)チームマネージャー、ミルククラウン乳業(株)会長、北海道標茶高等学校校長、標茶高校生徒
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校OPENプロジェクトの説明</li> <li>・プロポーザル審査におけるプレゼン発表</li> <li>・各団体の役割(案)について</li> </ul>
指導・助言を受けた内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの標茶町の未来を明るくする方策を探るための各機関との意思統一が図られた。</li> <li>・高校の役割として、パフェデザインを考案し、標茶町の飲食店にパフェの作り方をレクチャーすることが挙げられた。</li> </ul>
第 2 回	平成30年12月26日(水) 10:00~12:00 (本校でのスライド会議)
出席者	標茶町観光協会理事、標茶町産業振興課長、クリプトン・フューチャー・メディア(株)producer、北海道標茶高等学校校長、教頭、担当教諭
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪ミクコラボパフェのデザイン化</li> <li>・生徒の札幌研修(ミライストカフェ)について</li> <li>・高校と関係機関との連携協定に向けて</li> </ul>
指導・助言を受けた内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインの方向性や札幌研修の内容、協定の進め方等について協議した。</li> </ul>
第 3 回	平成31年2月4日(月) 13:30~15:30 (札幌市)
出席者	標茶町長、標茶町農業協同組合組合長、標茶町商工会会長、標茶町観光協会会長、クリプトン・フューチャー・メディア(株)社長、北海道標茶高等学校校長
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教育と標茶町町おこしのための協定締結</li> </ul>
指導・助言を受けた内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪ミクコラボパフェの披露</li> <li>・標茶町活性化事業に関する連携協定調印式(町、農業協同組合、商工会、観光協会、クリプトン・フューチャー・メディア(株)、標茶高校)</li> <li>・町全体での6次産業化の実現に向けた協力体制の確立と具体的な取組の確認。</li> </ul>

## 4 研究の成果と課題

### (1) 目的の達成状況

- 雪ミクコラボパフェの取組から商品企画や開発に向けた技術や知識の習得を進め、地域特性を理解したパフェデザインを学んだ。また、札幌での研修において実際にお客様から評価をいただいたことも「ものづくり」の面白さを実感する上で貴重な体験となった。
- 標茶町内でもパフェを通じたコラボや連携の話題が広がり、町民が興味・関心を持ち、パフェの町づくりに向けた気運が高まっているように感じる。
- 多くの関係企業の方から意見をいただく機会はあるが、実際に活動としての関わりが薄く、この活動を多角的な視点で捉えるところには至っていない。今後の活動を通じて全体像及び具体像を描いていく必要がある。

### (2) 目標の達成状況

- しべパフェオリジナル製品のデザインを決めるうえで、地域の特産物や環境特性を理解し、美味しいだけではなく、デザインにストーリー性や特徴を盛り込むことを学んだ。
- HACCPの進捗状況は釧路保健所との協議・指導において、順調に進んでいるという評価をいただき、原料供給の衛生性の確保を推し進めることができた。
- 安定供給に向けた町の飲食店への認知が薄いので、役場や商工会を通じて活動への認知を促進し、パフェの提案ができる道筋を準備していく必要がある。
- パフェについて町民に対するアンケートを実施するなど、町での販売会などの機会を利用してニーズを探っていく必要がある。

### (3) 実践研究の規模

- 現在、酪農・食品系列の生徒を中心に展開しており、授業内で39名の生徒が研究に関わることができた。
- 年度途中からの活動であったことと製造の分野が大半であったため、酪農・食品系列を中心とした取組になってしまっているが、次年度は計画段階から、広報やプロモーション、地域との関わりの分野で活動を各系列に分担し、学校全体の取組となるようにする。

### (4) 研究成果の普及

- 1月下旬に本校で行った校内総合学科研究発表会において高等学校OPENプロジェクトの趣旨やこれまでの活動について本校生徒約200名、地域住民約100名の中で発表を行った。
- 2月下旬には中小企業家同友会くしろ支部の会員・関係者60名に対し、本プロジェクトの経緯について報告を行った。
- 本校ウェブページで、取組状況について随時掲載し、周知を図っている。
- 次年度に向けて活動が活発になっていくことから、観光協会や商工会を通じて定期発行されている情報誌への掲載を計画している。

**(5) 実践研究内容**

- 標茶町オリジナルパフェのデザインを思案する過程で、クリプトン・フューチャー・メディア社の協力のもと、コラボパフェのデザインや試食、お客様へのインタビューなどを経験することができた。
- 2月に北海道中小企業家同友会くしろ支部の例会に参加し、35名の地域住民や関係機関などに高等学校OPENプロジェクトの趣旨や今後の展望について発表を行い、地域の理解を深めることができた。

**(6) 地域みらい連携会議**

- 連携会議メンバーを本体とした関係機関で、本校への教育支援と町の活性化事業の積極的推進を目的とした協定を締結し、本プロジェクトをはじめとした元気な町づくりを実践する体制を構築した。
- 会議の開催時期については、実践研究の進捗などを踏まえ、柔軟に日程を設定して開催する必要がある。

**5 プロジェクトの達成状況**

**(1) [評価の観点] 本道の基幹産業を支える人材や、地域を守り支えていく人材の育成について**

(評価)

一部の生徒に対しては、本道の基幹産業や地域を支える人材の育成につながった取組となった。

(評価した理由)

酪農食品系列の生徒にとっては、授業内で地域の特産物や資源の活用について考える機会となり、地域を支える人材育成につながったため。

**(2) [評価の観点] 地域の自治体や企業、産業界等の関係機関との協働について**

(評価)

地域の自治体や企業、産業界等の関係機関と協働した取組を実施し、成果や課題を共有している。

(評価した理由)

北海道標茶高等学校がコーディネートし、標茶町活性化事業のために標茶町、標茶町農業協同組合、標茶町商工会、標茶町観光協会、クリプトン・フューチャー・メディア(株)が協定書に調印するなど協働体制が整ったため。

**(3) [評価の観点] 生徒の主体性について**

(評価)

生徒は、教員との対話の中で主体性を持って考え実践することができている。

(理由)

授業を通じて標茶町が置かれている現状を理解し、標茶高校生としてできることを考えながら学び、実行できているため。

**(4) [評価の観点] 地域課題の解決状況について**

(評価)

取組により、地域の課題解決ができた。

(理由)

高等学校OPENプロジェクトによって、標茶町で初めて高校、町、農業協同組合、商工会、観光協会が共通の目的のもと意思統一ができたため。

## 6 今後の取組

- ・ パフェデザインを蓄積し、役場や商工会、地元企業の協力のもと、飲食店で負担なく安定的に扱うことのできるパフェを提案していく。
- ・ パフェについて町民に対する販売会等でアンケートを実施しニーズを探っていく。
- ・ 校内では、次年度の計画段階から各系列に役割を分担し、学校全体で取り組み、地域を考え支える人材の育成を図る。
- ・ 観光協会や商工会を通じて定期発行されている情報誌へ情報を掲載する。

[先行検討]

- ・ 新たな道の駅やミルクプラント構想に参画し、高校生の関与できる施設を提案する。
- ・ 素材の安定利用と特産物化に向け、JAとの協議を進める。
- ・ パフェの広報にもつながる標茶のプロモーション映像づくりに参画する。

## 7 参考資料

### (1) 第1回地域みらい連携会議



11月16日に標茶高校で標茶町長、標茶町農業協同組合組合長、標茶町観光協会理事、標茶町観光協会会長、クリプトン・フューチャー・メディア(株)チームマネージャー、ミルククラウン乳業(株)会長、北海道標茶高等学校校長、標茶高校生徒による本プロジェクトの旗揚げが行われた。

### (2) パフェの試作・検討①



12月にデザインしたオリジナルパフェの試作及び検討を行いました。デザインの表現方法やカップに合った層の数、味、食感のバランスについて意見をまとめました。今後、継続的に素材、風味、デザイン、価格、作業性等についての検討が予定されている。

### (3) 第3回地域みらい連携会議



2月4日に標茶町活性化事業に関する連携協定調印式が行われ、標茶町、標茶町農業協同組合、標茶町商工会、標茶町観光協会、クリプトン・フューチャー・メディア(株)、北海道標茶高等学校それぞれの代表が集まった。

### (4) 雪ミクラボパフェ市場調査

さっぽろ雪まつりに合わせて私達のデザインした雪ミクラボパフェの販売提供を見学し、お客様の生の声を聴くことができた。改めて標茶産の牛乳の美味しさと、デザインの大切さを実感した。また、新たな商品への期待の大きさと標茶町への関心の高さ感じることができた。



(5) パフェの試作・検討②



標茶高校で製造したアイスクリームやヨーグルトを利用したパフェを試作し、クリプトン・フューチャー・メディア社の田中様よりアドバイスをいただいた。

(6) 中小企業家同友会くしろ支部へ参加



北海道中小企業家同友会くしろ支部の例会に参加させていただき、60名の地域住民や関係機関の方へパフェ推進事業の趣旨と今後の活動計画を発表した。